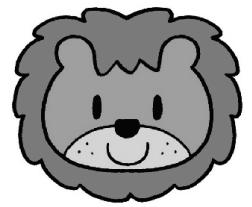


# らいおんぐみだより



尚徳福祉会 坂戸保育園 2019.9

プールにお祭りなど、色々な体験を楽しんだ夏にも、だんだんと秋の気配が近づいてきました。たくさんの夏の思い出を作った子どもたちはたくましくなったように見えます。これから園庭へ出る日も増えてくるので、運動会に向けて少しずつ取り組んでいきたいと思えます。



## 楽しかったプール

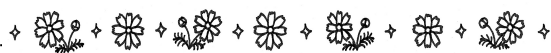
初めは顔に水がかかるのを嫌がっていた子ども、今では水が掛かっても笑顔でいられる程、プールを楽しむことが出来ました。

潜って泳いだりバタ足をしたり、友達と水の掛け合いの勝負をしたり、浮き輪に乗って優雅に浮いたりなど、それぞれ好きな遊びをして過ごしました。プールじまいの日は雨でしたが、メダルをもらい、お楽しみのジュースを飲んで嬉しそうでした。



## 鉄棒

雨の日に部屋で鉄棒をしてみました。普段はあまり鉄棒に興味がない子ども、場所が変わるとやりたいという気持ちになり、鉄棒の行列が出来ました。自分の得意なものを見せる子や、まだ出来ないものに挑戦する子、「頑張れ」と応援する子もいました。何度か取り組んでいくと成功する子ども増え、みんなが「すごいね」と、その子の頑張りを認め拍手する姿をみて感動しました。



## 版画作り



画用紙を切って自分の顔を作りました。自分がイメージしていた物と実際に切った大きさが違い「あれ？」と、もう一度切り直したり「髪の毛はこの色にしよう」「顔の形は△がいいかな？」「髪型は三つ編みにしよう」など、考えながら作っていました。

そして版画の道具を出すと「使ってみたーい」と目を輝かせながら興味津々になる子どもたち。ローラーを転がしてインクで染まっていく顔を見て「わあ、すごい」と言葉が漏れたり、その上に紙を載せこすって刷ると「顔が浮き出てきた」と発見を喜んでいました。作業をしていると集まって「ここまだ塗ってないよ」「どんな顔になるかな」など、教えてあげたり友達の出来上がりを楽しみにしていました。

## 夏の思い出



夏の思い出を描きました。夏にどこへ行ったか、何をしたか、何を食べたかなどみんなで思い出し「海に行った」「プールに入った」「お祭りに行った」「かき氷食べた」「花火した」など、次々と声が上がり夏の思い出がいっぱい出てきました。部屋に飾ってありますのでご覧ください。

